

令和5年度版

新家庭学習の手引き

家庭学習は、自分の課題を見つけ、主体的に学ぶ習慣を身につけるためにとっても大切なものです。小学校のうちに**自己管理能力**がつくことで、後々の家庭学習に大きな影響を与えます。

1 家庭学習のポイント（お家の方へのお願い）

(1) 生活リズムを調整し、こつこつ学習を進める

毎日家庭学習を続けることで、主体的に学ぶ習慣が身につきます。低学年のうちから毎日欠かさず家庭学習をすることが大切です。そのためには、家庭での時間をどのように過ごすか大切です。家庭で十分話し合っ、**各家庭に合ったリズム**が作れるといいです。

(2) 集中して学習する

短時間で集中して学習することが、長続きのこつです。**自分で決めた学習**を集中してがんばるよう声をかけるとやる気がアップします。また、テレビを消す、机のまわりを整頓するなど、集中して学習に取り組める環境を整え集中して学習することで、がまん強さ・根気・集中力が身につきます。

(3) 学年に応じた〇つけ・分析をする

〇つけをし、間違いをすぐ直すことが、**自分自身を振り返ること**につながります。また、**間違えた原因を分析して自分の課題を見つけることが、主体的に学びを進める力を身につけること**につながります。

(4) 子どものがんばりを認め、ほめて励ます

「**認める**」「**ほめる**」声かけをすることで、家族のふれあいの機会が増えます。家族との関わりが子どもの精神の安定につながります。**毎日必ず子どもたちの家庭学習を確認**し、ほめる声かけをすることで子どもも安心して学習に取り組むことができます。

(5) 自己管理能力は規則正しい生活とあいさつから

全国学力学習状況調査から「早寝・早起き・朝ご飯」を毎日の習慣にし、**生活リズムを整えることで、自己管理能力が身につくこと**につながることが明らかになりました。また、あいさつは人との関わりの一歩です。家庭・地域でのあいさつを大切にすることで心を豊かにし、気持ちを明るくします。

2 家庭学習の方法

(1) 学習計画をたてます。

※授業やテストに向けて、自分の課題に取り組みましょう。

(2) 「今日の課題」に取り組みます。

※1・2年生…学校から出された宿題に計画的に取り組みましょう。

※3・4年生…低学年で行ってきた家庭学習をもとに、自分で学習計画を立てて取り組みましょう。

※5・6年生…授業や自分の学びを振り返り、自分の課題を見つけて取り組みましょう。

※みがき学習の参考例 参照

※ドリル学習はミライシードを活用しましょう。

(3) 家庭学習が終わったら、次の日の準備をします。

(鉛筆を削る・時間割をそろえる・持ち物を準備する等)

これらを毎日繰り返し、習慣化していきましょう。

3 みがき学習の参考例

興味・関心・探求	国 語
<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな分野の読書に親しむ。 ・国語辞典、漢字辞典、その他図鑑を身近に置いて調べる。 ・日本地図、世界地図、地球儀を身近において調べる。 ・新聞に目を通して、学習に関連するものや興味のあるものを参考にして自分の考えをまとめる。 ・ニュース番組を見て、家族で話し合い、感想をまとめる。 ・自然や生き物とふれあい、観察したことをまとめる。 ・地域の施設を利用したり見学したりしてわかったことをまとめる。 ・詩歌、古文等を暗唱し、気づいたことを書く。 ・家の仕事に進んで取り組んで感じたことを書く。 ・市販のドリルや問題集から苦手な問題を抜き出して取り組む。 ・お料理作り ・レシピ作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の授業のまとめ ・音読 ・教科書などの視写 ・語句調べ・言葉集め ・読書とその感想 ・授業の予習や復習 ・テストやプリントの直し
	<p style="text-align: center;">算 数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数の授業のまとめ ・教科書の問題 ・問題づくり ・授業の予習や復習 ・テストやプリントの直し ・百マス計算
	<p style="text-align: center;">社会・理科・みさき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察、実験、調べ学習 ・授業で学習したことをまとめる ・地図を用いた学習 ・次の授業でやりそうなこと ・みさき学習で取り組みたいこと

*PTA 総会・参観懇談会で家庭に紹介し、各学年の手引きをノートに貼って取り組ませる。